



### リニューアルオープンから3年 芦屋病院 経営健全化の取り組み

問い合わせ 総務課 ☎31-2156

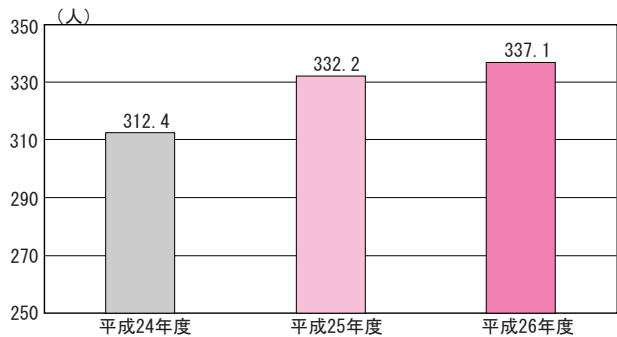
芦屋病院では、平成21年度から5年間の「市立芦屋病院改革プラン」を策定し、地方公営企業法全部適用への運営形態の見直し、病院の更新築工事を始めとした病院機能特化を行うなど、病院経営の改革・改善に努めてきました。

新病棟の完成・リニューアルオープンから3年。さらなる経営健全化を進めるため、平成26年度から5カ年の「市立芦屋病院中期経営計画」を策定し、新しくなった病院施設の有効活用を図り、現存診療機能の充実を行うことで経営健全化を進めています。

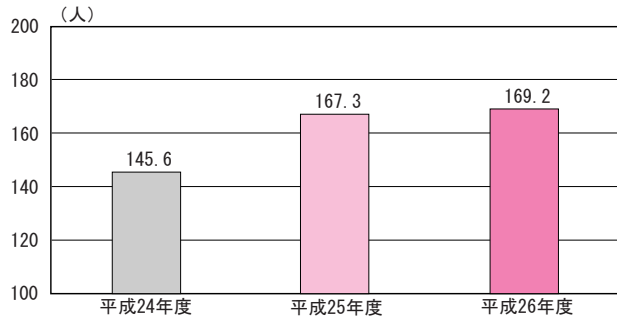
今号では、この取り組み等について報告します。

#### グラフで見る経営健全化の取り組み状況

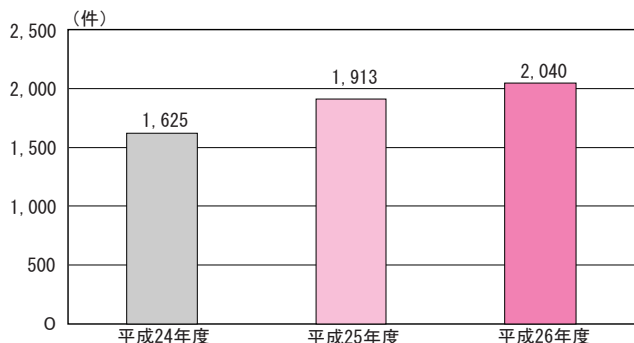
■ 外来患者数（1日平均）



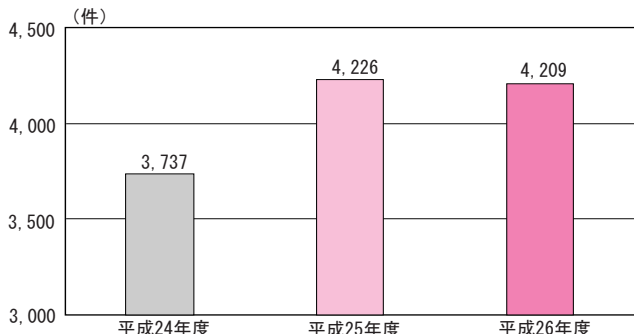
■ 入院患者数（1日平均）



■ 手術件数



■ 救急患者数



「地域完結型医療」を目指して  
地域の医療機関との連携を強化

芦屋病院では、国の医療政策に基づき「地域完結型医療」を推進し、積極的に医療連携に取り組んでいます。これまでは、大きな病院に行くことほとんどの診療科が揃っており、そこで病気やケガの治療ができる、いわゆる「病院完結型医療」でした。しかし待ち時間や医療費の問題から、現在は病院と診療所が役割を分担し、地域の医療機関全体で一つの病院のような機能を持つべく体制が推進されて

今後、わが国に求められる医療としては超高齢社会に対応する医療があります。出生数が減り、平均寿命の伸びから4人に1人は高齢者となる状況は、本市も例外ではありません。高齢期の患者さんが中心となる時代の医療は、病気と共存しながら「生活の質（Quality of Life）の維持・向上」を目指し、地域や自宅での生活が出来るように地域全体で支える「地域完結型医療」への変化が求められます。



当院は年間に市内外の700以上の医療機関から紹介をいただき、連携協力しながら診療にあたっています。診療所等では対応困難な専門的治療や検査、手術、救急医療等を担っており、診療体制や設備の充実に伴い、当院への紹介件数も毎年増加しています。今後より一層、医療のみではなく介護福祉行政とも連携した地域包括ケアに力を入れていきます。

#### インターネットを活用した地域連携が始まっています ～病診連携システムのご紹介～

芦屋病院では患者さんの診療情報をかかりつけ医である地域の診療所と共有するために「病診連携システム」を導入しています。これは当院に保管されている検査データや画像データなどの診療情報を高度に暗号化してインターネットで結び、医療機関相互で共有することにより、診療に役立てるための仕組みです。

システムの活用により、当院とかかりつけ医双方の情報共有を図ることができるようになり、より質の高い医療を提供することが可能となります。かかりつけ医がシステムを利用して診療情報を参照するには必ず患者さん本人の同意が必要となります。詳しくは下記までお尋ねください。



問い合わせ 地域連携室 ☎31-2156